

2018年度（平成30年度）事業報告

2018年度は目標入館者数を32,000名と設定し、結果32,718名となった。上半期は桜満開が3月に早まり、4月2日（月）の臨時開館も入館者は例年より少なくさらに初めての試みの閉館時間1時間繰り下げ（3/29～4/7）も大きな成果は出なかった。また、7、8月ともに記録的な猛暑に加え9月には長雨、台風とで対前年大幅減（▲4,645名）となってしまった。

下期の企画展はミニ展示（6/16～2019/3/3）が主であったが、10月のふるさと区民まつりの大盛況で対前年大幅増が寄与し、さらに桜の開花も3月後半から月末まで比較的長く咲き誇り、ほぼ前年並みに推移した。（+119名）

今年度の新入社員教育は43社、510名で対前年+12名。

尚、11月17日（土）に新館入館者数が70万人を達成した。

設備・投資面では通常投資で空調冷媒管補修工事、高圧ケーブル交換などを行い、70周年に向けては教育用ビデオ更新、Webリニューアル、Wi-Fi工事などを行った。

本格的な館内常設展示及び館内設備改造費用は2019年度に発生する予定。

I. 紙に関する資料の収集、保存、調査研究展示

1. 今年度開催した企画展

- | | |
|-------------------------|---------------|
| (1) 木版画の美その2～独特の美しさと技法～ | 3/17～6/3 |
| (2) ミニ展示「紙漉重宝記」 | 6/16～2019/3/3 |
| (3) 白石の和紙～名産紙布・紙衣を中心に～ | 2019/3/16～6/9 |

2. 一般公衆への説明・助言・指導と図書利用

紙に関する知識が豊富なボランティアを毎日2名配置し来館者に和紙や洋紙についての正しい知識を深めていただき、紙に対して親しみを持っていただくよう努めている。年2回ボランティア会議を開催し説明内容の統一を諮ったり来館者からの質問事例を紹介するなど相互に切磋琢磨しつつ、より一層わかりやすい解説と理解の向上を目指している。今年度も桜開花時期、新入社員教育時期、区民まつり時期など多くの入館者が予想される時期にはボランティアを増員し（3～4名態勢）対応した。

今年度の図書室利用は910名で調査研究、論文作成などで利用されたり絵本や子供向け書物にも多くのファミリーの利用があった。平成16年度から参加しているレファレンス協同ベースには現在まで82件のデータを登録しており、レファレンス事例の被参照数（アクセス数）は32,700件となった。全国規模の図書館総合目録NACISにも当館受入れ雑誌のすべてと図書データ約2,000点を登録しており、ILL（図書館相互に図書や論文を利用しあうためのシステム）を通じて、全国の

図書館からの複写申し込みにも対応している。今年度は28件の複写依頼を受けた。
(前年度19件)

3. 日本博物館協会（日博協）、都博物館協議会（都博協）、民間博物館協議会（COMIC）に出席

今年度は全国博物館大会を東京で開催するに当たり、当館は大会の委員及び実行委員会の委員に選出され、4/4、7/18の実行委員会に参加、5/21日博協の監事として会計監査、5/30、2019/3/14日博協理事会、6/14日博協評議会、6/29、2019/2/28都博協理事会、7/4全国博物館館長会議、11/28～30全国博物館大会にそれぞれ出席した。またCOMICにも平成20年発足当時から参加しそれぞれの館の活動状況、問題点などの情報交換を行っている。

II. 紙に関する講演会、講習会、実演会の開催

1. 各講演会

テーマ	会合名	講師	場所	開催日
「トイレットロールの歴史」	かみはく友の会	関野 勉	紙博講堂	12/1
「紙を知ろう」	北区環境展	学芸部長	としま若葉小	10/27
「紙で記録する、伝達する」	飛鳥山一日大学	学芸部長	北区飛鳥山博物館	19/2/16

2. 講習会及び実演会

講習会、実演会名	講師	開催日
(1) 体験・写楽を摺る！	沼辺伸吉氏	4/15
(2) 新聞紙でカブトをつくろう	当館学芸員	4/29
(3) 浮世絵手摺り実演会	沼辺伸吉氏	4/30
(4) 歴史発見！街めぐり	当館学芸員	5/26
(5) 野菜から紙をつくろう	当館学芸員	7/26
(6) 3館まとめてクイズラリー	当館学芸員	8/4
(7) 親子で牛乳パック工作	当館学芸員	8/9
(8) 自由研究「紙を知ろう」	当館学芸員	8/16
(9) GO！ゴー！ミュージアム	当館学芸員	10/6～7
(10) 小川和紙手漉き実演会	谷野裕子氏	11/3
(11) 和紙づくりを楽しもう	谷野裕子氏	11/23

昨年に引き続き七夕に因んで竹紙を使った「たんざくに願いを書こう」でエントランスの壁に笹を想定した網をかけ書いて頂いたたんざくを掛けていくイベントや図書室を開放して夏休み自由研究フェア（7/20～8/31）としご利用を促進した。

3. 「紙すき教室」の開催

今年度も紙すき教室は好評で毎週土、日に開催している定例紙すき教室は100日、6,548名が体験した。昨年度から開催した土、日以外の祝日（海の日、敬老の日）のほかに季節に合った祝日や記念日ごとに（母の日、父の日、山の日、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン、ひなまつり）透かし柄を工夫しバリエーションを付けた。また、今年1月よりはがきのほかに要望の多かったしおりバージョンも入れお客様にどちらか選択できるようにしたところ、ほぼ半々ぐらいで現在推移している。

出張紙すきでは8/2～4の日本製紙連合会が主催した“ペーパーEXPO2018”では延べ615名、神田ブックフェスティバル10/27～28で504名、11/25には北区省エネ道場24名、さらに今年は旧古河庭園100周年記念コラボイベントとして5～6月と10月のそれぞれ4日間を“バラのカードをつくろう”を行い、旧古河庭園に因んだ洋館やバラの透かし模様で紙すきイベントを実施し好評を得た。

○定例紙すき	100日	6,548名
○臨時紙すき	53日	1,213名
○出張紙すき	6日	1,161名
合計	159日	8,922名

すべての紙すき教室では体験前に10～15分程度「紙のリサイクルと森のリサイクル」「紙の出来る原理」「和紙と洋紙の違い」など子どもたちにも解り易く説明し理解してもらおうよう努めている。

4. 学校及び諸団体の教育活動に対する協力、援助

9年前から小中学校の教師の方からのご予約及び引率を条件に、生徒10人以上の団体入館料を無料にしている。

今年度の区内外の中学生の「職場体験」の受け入れは北区立明桜中学校3人を受け入れた。また、大学生の博物館実習も受け入れており今年度も3人受け入れた。

一方、社会人向けの教育として新入社員教育を実施しており、今年度は43社、510名が受講した。紙に関する講義、ビデオ上映、展示室解説など2時間余の予定で行っている。

5. かみはく友の会の活動

今年度は6/7(木)に近隣にある国立印刷局東京工場の見学会を実施した。
また12/1(土)には友の会の会員でもある関野勉氏による「トイレットロールの歴史」と題し講演会を行い、また講演後、友の会の会員との親睦を図った。

Ⅲ. 機関紙及び紙に関する書籍類の出版、広告活動

(ア) “百万塔” 発行 第160号(6月)、第161号(10月)、
第162号(2019/2月)

(イ) 紙博だより発行 第74号(4月)、第75号(2019/3月)

(ウ) 外部広告活動

＊館全体紹介

東京観光バリアフリー情報ガイド(英語版)、観光情報サイト(JR、ヤフー)、
言の葉大賞2018春号、高島平きもの新聞第154号、大学歩きブックガイド
朝日新聞夕刊6/21、TBS「噂の／マガジン」、北区ニュース7月号、テレビ朝日「東京サイト」、東京新聞「親子でぶらり」、印刷界2018、労務研究所「福利厚生」NO22538、北区新聞地域情報応援隊、「ちかとく」2018/10、東京メトロのみちかFACEBOOK、「演劇界」

＊イベント紹介

ぱど7月、きたシティNO1707、毎日小学新聞「自由研究お助け隊」
日刊紙業通信、「あんふあん」12月号、毎日新聞朝刊1/25

＊企画展紹介

紙之新聞第6413号、FUTURE第15号、東京新聞首都圏情報4/27、
東京観光「GO TOKYO」、j:COMダイリーニュース

Ⅳ. 売店事業

今年度売上金額 4,782千円(対前年▲1,959千円)

＊入館者数の大幅減少と企画展関連グッズ(高額商品)の減少が大きく響き
対前年大幅売り上げ減となった。

V. 主要修繕、投資工事

*通常

・大型プリンター、パソコン購入	2, 4 5 7 千円
・空調冷媒管補修工事	2, 2 0 3
・高圧ケーブル交換工事	2, 0 3 0
・非常灯交換工事	8 3 2
・事務室水回り工事	7 1 2
・トイレウォシュレット更新工事	4 5 4
・小便器センサー更新	2 7 0

*70周年関連

・教育用ビデオ作製	3, 4 5 6
・Webリニューアル	3, 1 0 0
・Wi-Fi工事	1, 3 6 6
・1Fパーティーション工事	4 7 6